

原子力施設等におけるトピックス
(令和3年7月5日～7月11日)

令和3年7月14日
原子力規制庁

○令和3年7月5日～7月11日の間に発生した以下の法令報告事象に該当する事案は、下表のとおり。

- 原子炉等規制法第62条の3又は放射性同位元素等規制法第31条の2に基づく報告事案(発生に係る報告に限る)

発表日	事業者名	事業所名	件名	備考
			該当なし	

○主要な原子力事業者(*)の原子力事業所内で令和3年7月5日～7月11日の間に発生した以下に該当する事案は、下表のとおり。

- 保安規定に定める運転上の制限から逸脱した事案
- 原子炉等規制法第62条の3に基づく報告事項に該当しないが安全確保に関する事案で、事業者がプレス公表したもの

*……原子力発電所を所有する電気事業者、日本原子力研究開発機構及び日本原燃(株)

発表日	事業者名	事業所名	件名	備考
			該当なし	

<参考> 海外の原子力施設におけるトピックス
該当なし

<その他>
福島第一原子力発電所一時保管エリアP排水柵における全ベータ値の一時的な上昇について
(7月5日、7日～11日東京電力ホールディングス株式会社 HP 掲載)

福島第一原子力発電所 一時保管エリアP排水枡における全ベータ値の 一時的な上昇について

2021年07月05日

2021年7月5日
東京電力ホールディングス株式会社

本日（7月5日）、一時保管エリアP排水枡における放射能分析結果（6月29日採取分）において、全ベータの値が、前回（5月21日）採取分に比較し、以下の通り、上昇していることを確認しました。なお、本日採取分においては、通常の変動の範囲内に戻っていることを確認しています。

【前回（5月21日）採取分】

全ベータ:5.9Bq/L、セシウム137:検出限界値未満(検出限界値0.75Bq/L)

【今回（6月29日）採取分】

全ベータ:750Bq/L、セシウム137:21Bq/L

【本日（7月5日）採取分】

全ベータ:9.8Bq/L、セシウム137:5.8Bq/L

当該排水枡において、全ベータの値が一時的に上昇した原因は、現時点で不明ですが、今後、降雨があった日については、サンプリングの頻度を増やす等、当該排水枡周辺エリアを調査し、当該排水枡の全ベータ値が一時的に上昇した原因を調査してまいります。

なお、当該排水枡の周辺にある一時保管エリアE1,P2において、コンテナの外観目視点検を実施していますが、点検時にコンテナからの水の漏えいがないことを目視確認およびコンテナ外表面の線量当量率測定により確認しています。また、一時保管エリアE1,P2付近にある側溝直近の線量当量率を定点測定し、有意な変動が無いことを確認しています。

当該排水枡は、陳場沢川に通じていることから、本日、陳場沢川河口においてもサンプリングを実施し、前回（6月4日）採取分と比較し、有意な変動がないことを確認しています。

【前回（6月4日）採取分】

全ベータ:7.2Bq/L、セシウム137:検出限界値未満(検出限界値0.60Bq/L)

【今回（7月5日）採取分】

全ベータ:検出限界値未満(検出限界値3.6Bq/L)

セシウム137:検出限界値未満(検出限界値0.78Bq/L)

暫定の対策として、今後、当該排水枡を清掃するとともに、側溝における水の流れを調査し、側溝へのゼオライト土のうの設置等を進めております。

現時点において、5,6号機放水口北側の海水濃度に有意な変動がないことを確認しています。

以 上

(東京電力ホールディングス株式会社HP掲載)

福島第一原子力発電所 一時保管エリアP排水枡における全ベータ値の一時的な上昇について（続報）

2021年07月07日

2021年7月7日
東京電力ホールディングス株式会社

7月7日にお知らせしております、一時保管エリアP排水枡における全ベータ値の一時的な上昇について、その後の状況をお知らせします。

原因調査のため、一時保管エリアP1、P2、E1の近傍を流れる排水溝、排水枡、陳場沢川河口の水を採取し、分析を行いました。分析の結果、一時保管エリアP南側排水溝および東側流入地点（上流）の全ベータ値が高いことを確認しました。

【一時保管エリアP南側排水溝】

全ベータ:930Bq/L、セシウム137:370Bq/L、セシウム134:14Bq/L

【東側流入地点（上流）】

全ベータ:320Bq/L、セシウム137:21Bq/L、セシウム134:検出限界値未満

（検出限界値0.79Bq/L）

なお、一時保管エリアP排水枡や陳場沢川河口においては、全ベータ、セシウム137、セシウム134ともに検出限界値未満であることを確認しています。上記分析結果を踏まえ、一時保管エリアP南側排水溝および東側流入地点（上流）の排水溝の清掃を行うとともに、ゼオライト土嚢の設置作業を現在実施しております。

引き続き、当該エリア近傍のサーベイ等、汚染源の調査を継続し、当該排水枡や排水溝の全ベータ値が上昇した原因を調査してまいります。

以 上

（東京電力ホールディングス株式会社HP掲載）

福島第一原子力発電所 一時保管エリアP排水枡における全ベータ値の一時的な上昇について（続報2）

2021年07月08日

2021年7月8日
東京電力ホールディングス株式会社

7月7日にお知らせしております、一時保管エリアP排水枡における全ベータ値の一時的な上昇について、その後の状況をお知らせします。

周辺の状況調査を実施したところ、シート養生の代用として一時保管エリアP2で使用しているノッチタンク2基の天板ハッチ部蓋が4箇所ずれており、タンク内および天板上に水が溜まっていることを確認しました。

本日、天板のハッチ部蓋がずれていたノッチタンク2基内の水および同タンク上面の水を採取し、分析を行いました。

【ノッチタンク（北）タンク内の水】

全ベータ:79,000Bq/L、セシウム137: 検出限界値未満（検出限界値6.5Bq/L）、
セシウム134: 検出限界値未満（検出限界値6.3Bq/L）

【ノッチタンク（北）天板上の水】

全ベータ:71,000Bq/L、セシウム137: 検出限界値未満（検出限界値4.9Bq/L）、
セシウム134: 検出限界値未満（検出限界値4.2Bq/L）

【ノッチタンク（南）タンク内の水】

全ベータ:33,000Bq/L、セシウム137: 検出限界値未満（検出限界値5.6Bq/L）、
セシウム134: 検出限界値未満（検出限界値5.3Bq/L）

【ノッチタンク（南）天板上の水】

全ベータ:30,000Bq/L、セシウム137: 検出限界値未満（検出限界値4.8Bq/L）、
セシウム134: 検出限界値未満（検出限界値4.0Bq/L）

天板のハッチ部蓋がずれていたノッチタンク2基については、本日、天板上にシート養生を実施するとともに、ノッチタンク廻りへのゼオライト土嚢の設置を実施しております。

引き続き、当該エリア近傍のサーベイ等、汚染源の調査を継続し、当該排水枡や排水溝の全ベータ値が上昇した原因を調査してまいります。

以 上

（東京電力ホールディングス株式会社HP掲載）

福島第一原子力発電所 一時保管エリアP排水枡における全ベータ値の 一時的な上昇について（続報3）

2021年07月09日

2021年7月9日
東京電力ホールディングス株式会社

7月7日にお知らせしております、一時保管エリアP排水枡における全ベータ値の一時的な上昇について、その後の状況をお知らせします。

7月7日、周辺の状況調査を実施したところ、シート養生の代用として一時保管エリアP2で使用しているノッチタンク2基の天板ハッチ部蓋が4箇所ずれており、タンク内および天板上に水が溜まっていることを確認しました。

天板のハッチ部蓋がずれていたノッチタンク2基については、7月8日、蓋を開けて天板上にシート養生を実施するとともに、ノッチタンク廻りへのゼオライト土嚢の設置、ならびに一時保管エリアP南側排水溝および東側流入地点（上流）の排水溝の清掃を実施しました。

本日（7月9日）の降雨に伴い、調査の一環として、下記の通り一時保管エリアP周辺の水を採取し、分析を行いました。

【陳場沢川河口】

全ベータ:480Bq/L、セシウム137:360Bq/L、セシウム134 : 14Bq/L

【南側排水溝排水口】

全ベータ:1,100Bq/L、セシウム137:1,100Bq/L、セシウム134 : 41Bq/L

【沈砂池】

全ベータ: 検出限界値未満（検出限界値3.4Bq/L）、セシウム137: 検出限界値未満（検出限界値0.67Bq/L）、
セシウム134 : 検出限界値未満（検出限界値0.75Bq/L）

【一時保管エリアP排水枡】

全ベータ: 検出限界値未満（検出限界値3.4Bq/L）、セシウム137: 検出限界値未満（検出限界値0.59Bq/L）、
セシウム134 : 検出限界値未満（検出限界値0.54Bq/L）

【東側流入地点（上流）】

全ベータ:200Bq/L、セシウム137: 17Bq/L、セシウム134 : 0.77Bq/L

【一時保管エリアP南側排水溝】

全ベータ:390Bq/L、セシウム137: 48Bq/L、セシウム134 : 1.5Bq/L

7月7日に実施した分析結果において、全ベータ放射能濃度が高かった東側流入地点（上流）、および一時保管エリアP南側排水溝については、シート養生やゼオライト土嚢の設置、ならびに排水溝の清掃により、全ベータ放射能濃度が低下していると評価しております。

また、本日（7月9日）、陳場沢川河口及び南側排水溝排水口で確認された全ベータ放射能については、サンプリングした水は降雨に伴う土砂を含んでいること、および全ベータ放射能濃度とセシウム137の濃度が概ね等しいことから、フォールアウトに起因するものと判断しております。

引き続き、当該エリア周辺のサーベイ等、汚染源の調査を継続し、当該排水枡や排水溝の全ベータ値がセシウム137の値に比べて有意に上昇した原因を調査するとともに、調査結果をふまえ、追加対策を講じてまいります。

（東京電力ホールディングス株式会社HP掲載）

以 上

福島第一原子力発電所 一時保管エリアP排水枡における全ベータ値の 一時的な上昇について（続報4）

2021年07月10日

2021年7月10日
東京電力ホールディングス株式会社

7月7日にお知らせしております、一時保管エリアP排水枡における全ベータ値の一時的な上昇について、その後の状況をお知らせします。

本日（7月10日）、調査の一環として、陳場沢川河口の水を採取し、分析を行った結果、検出限界値未満であることを確認いたしました。

【陳場沢川河口】

全ベータ：検出限界値未満（検出限界値3.2Bq/L）

セシウム137：検出限界値未満（検出限界値0.67Bq/L）

セシウム134：検出限界値未満（検出限界値0.72Bq/L）

なお、今後、調査の一環として採取する一時保管エリアP周辺の水の分析結果において、有意な変動を確認した際は、都度、お知らせいたします。

引き続き、当該エリア周辺のサーベイ等、汚染源の調査を継続し、当該排水枡や排水溝の全ベータ値がセシウム137の値に比べて有意に上昇した原因を調査するとともに、調査結果をふまえ、追加対策を講じてまいります。

以 上

（東京電力ホールディングス株式会社HP掲載）

福島第一原子力発電所 一時保管エリアP排水枡における全ベータ値の一時的な上昇について（続報5）

2021年07月11日

2021年7月11日
東京電力ホールディングス株式会社

7月7日にお知らせしております、一時保管エリアP排水枡における全ベータ値の一時的な上昇について、その後の状況をお知らせします。

一時保管エリアP2のノッチタンクのうち、天板ハッチ部蓋がずれていた2基内の水について、準備が整い次第、集中廃棄物処理施設プロセス主建屋へ移送を開始いたします。

なお、移送開始・終了の実績については、移送終了後にお知らせします。

引き続き、当該エリア周辺のサーベイ等、汚染源の調査を継続し、当該排水枡や排水溝の全ベータ値がセシウム137の値に比べて有意に上昇した原因を調査するとともに、調査結果をふまえ、追加対策を講じてまいります。

以 上

（東京電力ホールディングス株式会社HP掲載）

福島第一原子力発電所 一時保管エリアP排水枡における全ベータ値の 一時的な上昇について（続報6）

2021年07月11日

2021年7月11日
東京電力ホールディングス株式会社

7月7日にお知らせしております、一時保管エリアP排水枡における全ベータ値の一時的な上昇について、その後の状況をお知らせします。

一時保管エリアP2のノッチタンク内の水をポンプ車で汲み上げ、本日以下の通り移送を実施しました。

- ・移送先 : 集中廃棄物処理施設プロセス主建屋
- ・移送開始 : 午前11時12分
- ・移送終了 : 午後 2時 1分
- ・移送量 : 約23m³

移送時においては、漏えい等の異常がないことを確認しております。また、移送時に取り外した天板上のシート養生については復旧しております。

引き続き、当該エリア周辺のサーベイ等、汚染源の調査を継続し、当該排水枡や排水溝の全ベータ値がセシウム137の値に比べて有意に上昇した原因を調査するとともに、調査結果をふまえ、追加対策を講じてまいります。

以 上

(東京電力ホールディングス株式会社HP掲載)